

会議議事録

(1) 会議の名称、開催日時等

件名	令和6年度 第2回 美瑛町社会教育委員会議兼公民館運営審議会議兼生涯学習推進委員会議
日時	令和7年3月11日(火) 午後6時 ~ 午後7時30分
場所	美瑛町町民センター 2階 第3・第4会議室
出席者	委員 荒川美奈子、天野潤也、宇野佳子、三野雅司、佐藤憲明、岡崎一佳 事務局 課長 才川健一、参事 松本光昭、参事 長野克哉、課長補佐 佐藤大 文化振興係長 山口祐弥 郷土学館業務係長 荒明慎久、主査 原子雅史
傍聴	可能 傍聴者数：なし
問合先	美瑛町文化スポーツ課 担当：佐藤・山口 電話：0166-92-4141

(2) 議事

議 題	
1 開会	
2 町民憲章朗唱	
3 委員長あいさつ	
4 議題	
(1) 令和6年度 事業報告について	
(2) 令和7年度 事業計画について	
(3) その他	
5 閉会	
議事内容	
事務局	1 開会 定刻になりましたので、令和6年度第2回社会教育委員会議兼公民館運営審議会議兼生涯学習推進委員会議を開会します。なお、本会議には、佐藤雅輝委員、笠原裕介委員、河村将寿委員、高橋良彦委員から欠席の連絡を受けております。
事務局	2 町民憲章朗唱 はじめに、町民憲章の朗唱を行います。 <u>町民憲章朗唱</u>
事務局	3 委員長あいさつ それでは、三野委員長、一言お願いします。
三野委員長	皆さん、改めましてこんばんは。年に2回の社会教育委員会議ということで、お集りいただきました。残念ながら何名かお見えになっていないのですが、次第の名簿のとおり現在10名の委員でうちの町は動いております。4月からは第11次の美瑛町社会教育中期計画の策定に向けて会議がいっぱいあるかもしれません。春から委員の皆さんのうち、何名かは新しくなると思いますが、今年はそういった意味で少し特殊です。2011年、14年前ですね。その時は第8次の中期計画の策定会議を3月11日にやりました。ただ、あの震災の後でしたから反省会はできませんでした。役場の人はお酒も飲めないし、うちらもお酒を飲む雰囲気ではなかった

	<p>ので、会議は1時間ぐらいで終わりました。まあ、第11次社会教育の5か年の中期計画を皆さんの声や意見を頂戴しながら、町民の皆様にとってわかりやすい内容で作っていきたいというのが私の考えです。数年後には美瑛町で社会教育の全道大会があります。内容はまだ決まっていないですが、今年は確か当麻町で社会教育の管内大会がありますので、ぜひ多くの委員が参加されるようお願い申し上げます。本日は、昨日と今日、防災無線でご案内された通り、社会教育の令和6年度の報告事項と7年度の事業計画が中心になります。傍聴される方が来るかもしれませんが、限られた時間の中で、できるだけ皆さんの意見を聞きながら、進めていきたいと思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。</p>
事務局	<p>ありがとうございました。それでは、今後の議事につきましては、三野委員長に進行をお願いいたします。</p>
三野委員長	<p>それでは、次第にそって議題を進めていきます。まず、(1) 令和6年度事業報告について、事務局から説明願います。</p>
	<p>(1) 令和6年度事業報告について、事務局より説明</p>
	<p>質疑応答</p>
天野委員	<p>ヘルシーマラソンのエントリー締切が4月7日だと思うのですが、町内の小中学生が、例えば少年団とかで参加していますが、これって一般的に入学して2～3日っていう形ですよ。</p>
荒川委員	<p>始業式ですね。</p>
天野委員	<p>ですので、年度で始まった時におそらく少年団とか、そういう動きっていうのは町内ですと動けないんじゃないかなと思うんですけど。また、小学校さんの行く期間もないという状態になるのかなあという気がしましたので、町の行事としてやるのであれば、そういう事を考慮していただけるのであれば、町の子ども達が参加できるチャンスが増えるのかなと。</p>
三野委員長	<p>ちなみに令和6年度の締切は、何日だったのですか。</p>
事務局	<p>4月15日でした。</p>
三野委員長	<p>ですよ。それだとちょっと早いな。少年団ってオフ参加だよ。大会に関係ないよね。</p>
佐藤補佐	<p>順位も全部出るので、関係あります。</p>
三野委員長	<p>それなら7日は、早すぎるかもしれない。</p>
松本参事	<p>大会を開催する時にはゼッケンとかを郵送するんですよ。郵便局とお話してるんですけど</p>

	<p>も、郵便局が封筒に詰めて出すのに一か月ぐらいかかると。で、去年やってみて、とても間に合わないという事で期限を伸ばしてくださいって話なので、大会の2週間前には各自宅に着くようにしないと。実は本州の方から旅行がてらヘルシーマラソンに来るっていう方がいて、ご自宅にゼッケンが到着した時には、もう旅立っているという人が結構去年あったんですよ。それで後ろからこう追って行って、この日付になってしまったというのが現状です。これを遅くすると郵送という形が取れなくなってしまいます。</p>
天野委員	<p>町内の小学校とかだったら取りに来たりできると思うんですけど。去年、うちの学校の1年生も参加してたんです。その入学前から確認するという事にはならないから。もう年度末で25日に修了式ですけど、その前に確認するっていう事になってしまうので、厳しいかなと。</p>
三野委員長	<p>間に合わないってことですか。</p>
天野委員	<p>まだ学校には、エントリーいつまでっていうのは来てないですよ。</p>
佐藤補佐	<p>通知はしてないですね。</p>
岡崎委員	<p>学校でヘルシーマラソンのチラシを子ども達が持ってくるっていう事自体、今までなかったと思うんですよ。町にポスターが貼ってあって、個人的に参加したいから申込みしなきゃ、みたいな感じで。学校からお知らせっていうのは今までなかったですね。</p>
松本参事	<p>学校単位っていうのは今までやってないです。ただ部活単位はやってたんですよ。そこを考慮はしたいと思うんですけども、ただ締切を遅らせると大会自体が組み込めなくなってしまう。当然、ゼッケンに名前を入れたりとかそういうのを全部準備する期間がですね、業者さんからここまでですって決まっています、逆算すると、どうしてもこうなってしまうんです。</p>
三野委員長	<p>学校とか部活単位での申込とかは想定されてないんですか。</p>
荒川委員	<p>子ども達が出るので、異動してきた先生も参加することがあるんですね。そういう部分で、始業式の日か、早いなっていうのはあります。</p>
三野委員長	<p>町内の小中学生に、そういうチャンスを増やせる方向で考えていただきたいっていう要望で。</p>
松本参事	<p>対応について、何とかしなきゃならないというのは考えます。</p>
三野委員長	<p>うちの商店街にポスター配布があったけど、学校にも案内した方がいいのかもしれないね。で締切になってみないとわからないというのは困るけど、8割方出る子は出てると思う。残りの2割がね、わからなくて出れなかったというのは可哀そうだから。そのために事前に案内があってもいいかもしれない。小学校5校、中学校2校、高校1校で8校しかないんだから。学校にポスターは送ってるんでしょ。</p>

荒川委員	来てないです。
三野委員長	まだできてないって事なの。
佐藤補佐	ポスターはもうできてます。
三野委員長	そういう意味でね、締切の部分を考慮しながらポスターを配布してお知らせする等、何かしらの対応をしてあげてください。参加人員の枠は決まってるんですか。
佐藤補佐	4, 000人です。
三野委員長	そうですか。他にはどうですか。
天野委員	道外研修ですね。目的があれば僕はどっちでもいいかと思うんです。最初にぱっと見てなんで九州なのかなと思ったんで。で、これがさっき説明があったように、ジオパークっていう事で九州なんですよっていう事を出して、ジオパークの全国大会の中で交流が少しでもできるような。そういったものに向けて他のジオパークを見て見識を深めるみたいな形で出すというのも一つかと思えます。また、そうじゃないっていうのであれば、万博っていうのも滅多にない事なので、ありがと思うんですね。ただ、これも目的をはっきり分らせるような文言にした方がいいかなと思います。
三野委員長	万博行っても目的を理解してなかったらわからんと思うね。あんなパビリオン見てどうだろうって。昔はね、70年に来た時は月の石となんかあったよね、見たいもの。皆そこに集中してたよね。北海道からもたくさんの方が行ってたんですよ。
天野委員	なんか国際交流とかね、そういう目的をもって行くんだったら全然ありかなと思うんだけど。ただせっかくジオパークというのがあるんだったら、それをなんかコラボさせて、交流できるようなことをすると行った甲斐があるのかなと思いますけど。
三野委員長	事務局の方で、その辺を考えながら進めるということよろしいですか。
山口係長	はい。せっかくなんで、他の委員さんの意見も少し聞きたいんですけど、どうでしょうか。
佐藤副委員長	私が東京にいた時、東京美瑛会の会員だったんですけど、東京美瑛会の会員が何班かに分かれて、毎年東京だったんですよ。で、生鮮市場とかそういうところに連れて行って、そしてフリーの時は渋谷をみたいとかっていう子がいたんで、事前に誰がどこに行きたいっていうふうにやってましたけどね。ただ、大きな万博とかそういう時にはかかっていなかったんで。
岡崎委員	娘が今年6年生で、ちょうど対象なんです。で、以前からすごく興味を持っていて、一回しかチャンスがないから今回参加したいっていう風に言っていて、本人はどういう風に思ってるの

	<p>かなって聞いたら、以前から九州にももちろん興味はあったんですけど、万博の話もあって、ちょうど半年の中で、たまたまこの道外研修でいけるのが今回の子たちという運命的なタイミングで、そんな奇跡的なタイミングもそうだし、本当に限られた半年に収まっている、すごいチャンスだねっていうのと、なかなか見に行く事もできない。で、あと色々世界の最新の事とか小学生の目線でいったら、すごく興味があったみたいで、一緒に町内の子たちとの学びに行くっていうのが、本人としてはそういうのがいいって言ってました。まあ、何を学ぶっていうのが大切ですよ。</p>
<p>佐藤副委員長</p>	<p>行くところの場所で、ここでは何を学びたいですかって事前にヒアリングしてやれば、一つの研修になります。たまたまね、私西部百貨店に行ったんですけど、渋谷の店にいたんですよ。そうすると百貨店の裏方ではどういう仕事をしてるのかということで、かなりの人数の人が来て会社の方も協力してくれて、裏方で品出しをして店頭に出すとか、色々そういう事をやっているのを全部、裏を見てもらって。最後は研修室に集まって、そこでちょっとご飯を食べてそして、質問があればって。結構なんかみんな手を挙げて質問してくれてね、まあ、これは大分勉強になってくれるなという風な事を感じましたよ。普段経験していない事は、子ども達ものすごく関心があると思います。</p>
<p>山口係長</p>	<p>貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。行程を決める際の参考とさせていただきます。</p>
<p>天野委員</p>	<p>東京経済大学の交流の説明があったんですけど、今年、美瑛高校で初めて大妻女子大さんと連携させていただいて、生徒が一人大妻さんにお世話になる事になって。ちょっと人生が変わるような体験をさせていただいた生徒がおります。女子生徒しか対象になれなかったんですが、うちの生徒たちの視野を広げさせたいなというのもあって、男子生徒がどうかかわらないですけど、もしこういうような交流をするのであればありがたいなと思っています。高校としてはですね、そういうので視野を広げてもらえるチャンスかなと、今後こういう事があれば連絡いただければなというのがまず一点。もう一点は、ミニバレーボール大会。実はですね私、去年参加させていただきました。奥様方というか、すごい真剣なんですよ。凄いなあと思って、本当に全然勝てなかったんですよ。男子の方もすごい熱心で、やられてる方はまじだな、という風に思った所だったんですね。で、これ農協の青年部の大会と被っているっていう時期があったんです。本当なら5組も6組もあるんだけどっていうことを聞いたこともあって、そしたら去年大会が中止になってしまって、出られなかった奥様方は気の毒だなあと思ってしまったので、他の所と似たようなことをやられてるのであれば、うまい事できないのかなと。</p>
<p>松本参事</p>	<p>そのご意見を頂いた時に、農協さんと調整してですね、一緒にやりませんかという話でお声掛けをしたんですけども、お断りされてしまいました。前向きに検討という形で前回言っていたいたんですけど、残念ながらというのが実情なんです。</p>
<p>三野委員長</p>	<p>多分こういう行事はやめるのは簡単だけど、一回やめちゃうともうできないんだよね。ミニバレーはどのスポーツもそうだけど、一時期ブームとかいうのがあったかもしれない。去年に関</p>

	<p>してはミニバレー連協とか男性チームとか全然動いていなかったよね。女性はミニバレー同好会等、チームはたくさんあります。けど、大会には出ないんだな。せっかくだから親睦を深めるといふ事で、できれば何チームか多くなれば大会らしくなると思うんで。継続性があるといいと思うんだけど、2年続けて中止になったらちょっと問題だからね、その辺はうまくできる形でね、時期的には冬が一番いいと思いますから。春とか秋とか農家の忙しい時は誰も出てこれないだろうから、考えながら内容を少し検討しながらということでもよろしいですか。今年去年ぐらいからモルックもできましたよね。新しいニュースポーツね。色んなスポーツがあると思うので、どれかを広げながら町民に興味を持ってもらったりとか、経験してもらったりとか。</p>
松本参事	<p>ボッチャとカーリンコンは、障がい者の施設の方に貸し出していて、モルックは3年前から貸し出しできる状況にあります。広報等にも載せてあるんですけど、なかなかですね、じゃあモルックやろうかなっていう人たちがいないような状態です。</p>
三野委員長	<p>数年前ぐらいなんだけど、スポーツ協会で旭川のスポーツ協会とコラボして、旭川の総合体育館の向こう側にちっちゃい体育館があるんだよね。そこでやったのがカーリンコンでした。それとフロアカーリングもやったかな。終わったらお土産程度に景品も出てましたよ。モルックの世界大会とか盛り上がっているよね。</p>
荒川委員	<p>美沢小では三回ほど大会をやって盛り上がってます。</p>
三野委員長	<p>他にどうでしょうか。全体とおして。</p>
佐藤副委員長	<p>バンドのドラム教室。今年載ってないですね。すごく人気あったと聞いたので。</p>
山口係長	<p>事業計画の中では、3ページの生きがいつくり講座の中に入れていただこうと考えておまして、ドラムだけをするか、楽器を広げてバンドにしていくかっていうのは、講師の先生ですとか、町内の実際に演奏されてる方との調整をふまえた開催とさせていただきたいと考えております。</p>
佐藤副委員長	<p>音楽に関するメニューが少ないので、どんどんやって欲しいです。</p>
岡崎委員	<p>子どもワークチャレンジの農業体験。去年うちの子ども達も参加させてもらって、たまたま近所の方だったので、同じトマト農家ではあるけれども、やっぱりトマト収穫に親しんでくれていて、今年も坂田さん、さっき会ったんで、もしお話あったら継続でもいいし、最初農業体験という話だけだった時に子ども達と何があるんだろうねっていう感じで。今後、芋拾いとかお芋の収穫とかそういうのもおもしろそうだねっていう話をしたんで。もちろん協力農家があるの事だと思うんで、今後そういうのを組み込んでもらえたらっていうのと、もしトマトだったらたまたま坂田さんの家がまだ収穫するものがあったかも。ちょっとあの時期だとうちも</p>

	片付け始めてたり、片付けに入る時期だからもうちょっと早い方がきつといっぱいトマトを見れるかもという風に思いました。すみません、なんか差し出がましい事を。
原子主査	いいえ、とんでもないです。色々調整したんですけれども、やはり農家さんなので、お邪魔になるわけにもいきませんし、いくら子ども達のためとはいえ、作業を一日ずらしてしまうと、トマトの収穫なんて一日で色が変わってしまうとかそういう繊細でデリケートなものだったので、坂田さんにもお話しして、最後の方で大丈夫なんでっていうお話をして、最初は9月末どうですかって聞いたんですけど、10月にご協力いただくのがギリギリでした。
岡崎委員	そうですね、繁忙期には頼めないし。
原子主査	そうなんです、芋を作っているところも沢山ありますし、それこそ町内ですとカルビー直営の農家さんもたくさんいらっしゃるでしょうから、そういった所の話も聞けはするんですけど、お願いできるかと言ったらなかなか厳しいです。外は天気の関係もあるので難しいとは思いますが。
三野委員長	手で芋ほりってするの。トラクターで全部おこしてるでしょ。
原子主査	機械でやったとしても端っこは残るので、その端っこを拾うとかはできるらしいです。農業が盛んなところで農業体験なんてやって参加者が来るのかって不安もありました。申込みが20人で、当日来れない子が2人いたと記憶してるんですけど、それでも意外と町中の子は知らないんだなあとか、発見があったので、継続事業として進めていきたいと考えています。
荒川委員	確認だけさせてください。かるた交流会なんですけれども、午後何時からの予定ですか。
山口係長	午後1時から予定しております。
荒川委員	今年は学芸会と被っていたので、他の学校は学芸会がずれてたりするので、学校によっては被ったりするだろうと思うんですけども。令和6年度はもう1週間だったんですよね。美沢小の学芸会は午前中で終わりますが、昼ぐらいまでかかることはあり得るなあと考えたので。
山口係長	かるた交流会につきましては、育成連の役員会を開催する時に、各学校の学芸会の日程を考慮して、開催時期を検討させていただきます。
岡崎委員	ジュニア美瑛学の流星群の観察っていうのは夜ですか。初めての事業ですか。
荒明係長	今年度はやってないです。3年か4年前に一回やっています。様々なメニューをジュニア美瑛学で用意してまして、続けて何年もやってくれるお子さんがいるので、同じ物をやらないようにという事で、何年かおきに計画しています。

岡崎委員	今年、うちの子どもが参加させてもらっていて、こういうのがあればと思って。また夜に星を見るっていうのも楽しいだろうな。時間も場所もその時々で考えてくださって、本当にありがたいと思っています。
三野委員長	その他はどうでしょうか。無いようですね。それでは、以上をもちまして、令和6年度第2回社会教育委員会議兼公民館運営審議会議兼生涯学習推進委員会議を閉会します。 以上